

# Mizuho Daily Market Report

2024/3/14

## 為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	147.71	147.76	+0.08	▲1.62
EUR	1.0927	1.0948	+0.0021	+0.0049
AUD	0.6613	0.6621	+0.0015	+0.0057
SGD	1.3327	1.3323	+0.0000	▲0.0065
CNY	7.1930	7.1868	+0.0042	▲0.0107
MYR	4.6885	4.6860	+0.0078	▲0.0463
THB	35.70	35.73	+0.16	+0.04
IDR	15576	15578	▲12	▲122
PHP	55.39	55.40	+0.08	▲0.48
INR	82.88	82.86	+0.08	+0.03
VND	24657	24670	+26	▲10

## 金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.190%	+3.9 bp	+8.8 bp
日本(10年)	0.767%	▲0.3 bp	+5.0 bp
ユーロ圏(10年)	2.366%	+3.6 bp	+4.4 bp
オーストラリア(5年)	3.690%	+6.9 bp	+2.8 bp
シンガポール(5年)	2.987%	+1.7 bp	▲0.7 bp
中国(5年)	2.256%	▲0.9 bp	+6.8 bp
マレーシア(5年)	3.555%	+0.4 bp	▲0.2 bp
タイ(5年)	2.194%	+0.2 bp	▲4.5 bp
インドネシア(5年)	6.509%	+2.6 bp	+0.8 bp
フィリピン(5年)	6.091%	+0.5 bp	+1.0 bp
インド(5年)	7.052%	+0.2 bp	▲1.9 bp
ベトナム(5年)	1.690%	+2.0 bp	+18.0 bp

## 株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	39,043.32	+0.1%	+1.0%
N225(日本)	38,695.97	▲0.3%	▲3.5%
STOXX50(ユーロ圏)	5,000.55	+0.3%	+1.7%
ASX(オーストラリア)	4,243.71	+0.2%	+1.1%
FTSTI(シンガポール)	3,160.72	+0.6%	+0.8%
SSEC(中国)	3,043.84	▲0.4%	+0.1%
SENSEX(インド)	72,761.89	▲1.2%	▲1.8%
JKSE(インドネシア)	7,421.21	+0.5%	+1.2%
KLSE(マレーシア)	1,538.13	▲1.1%	+0.4%
PSE(フィリピン)	6,965.51	+1.2%	+1.3%
SETI(タイ)	1,384.51	+0.4%	+1.0%
VNINDEX(ベトナム)	1,270.51	+2.0%	+0.6%

## 商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	281.09	+1.0%	+1.1%
金	2,174.41	+0.7%	+1.2%
原油(WTI)	79.72	+2.8%	+0.7%
銅	8,833.46	+3.2%	+4.1%

\*1週間前の終値と比較

## 【本日の予想レンジ】

USD/JPY	146.10	—	147.90
EUR/USD	1.0890	—	1.1000
AUD/USD	0.6590	—	0.6690
USD/SGD	1.3250	—	1.3480
USD/CNY	7.1750	—	7.2280
USD/INR	4.6460	—	4.8050
USD/THB	35.20	—	36.78
USD/IDR	15530	—	15700
USD/PHP	55.00	—	56.30
USD/INR	82.30	—	83.20
USD/VND	24,300	—	24,700

## 【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:  
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department  
Tel. 65-6805-4100

## 【為替】

アジア時間のドル円は147円台半ばの水準でオープン。取引時間序盤は春闘の満額回答が続く中、日銀政策変更の思惑から日本株が下落。ドル円もつられて147円台前半の水準まで値を下げた。然し乍ら、ドル売り円買いの流れは続かず、その後は株価が持ち直すとして為替も一転してドル高円安基調に。147円台半ばの水準で海外時間へ。アジア通貨は軟調。2月の米インフラ指標が予想を上回り、FRBの利下げ観測がやや後退したことから大半のアジア通貨が下落。

海外時間のドル円は米金利の上昇を横目に堅調に推移し、147円台後半の水準でNYオープン。新規材料が乏しい中、NY時間午前中に上昇していた米金利が低下し、ドル円は147円台半ばまで反落。NY時間午後は低調な米30年債の入札結果や、一部で報道された「日銀が来週の会合でマクス金利を解除するか議論する」とのヘッドラインが伝わると、一時147円台半ばまで値を下げる。その後は徐々に買い戻され、147円台後半の水準でクロス。

## 【金利】

米債市場ではコア・フラット化。原油先物の5営業日ぶりの上昇に連動する格好で米金利は上昇。米30年債入札が堅調な結果となると、超長期ゾーンは金利上昇幅をやや縮小。

## 【予想】

本日のドル円については、既に来週の日銀会合でのマクス金利解除の思惑が相応に織り込まれていると見られることから、更なる円買い余地は限定的と見る。むしろ本日の米2月小売売上高や米2月PPIが上振れした場合、ドル円が買い戻される動きを警戒したい。

## 【本日の予定】

(日本) 国債入札(20Y)  
(アジア) 1月 NZ 純移住者数  
(アジア) 2月 インド 卸売物価  
(欧州) 1月 独 経常収支  
(欧州) 2月 愛 CPI  
(欧州) 2月 英 RICS住宅価格  
(欧州) 2月 西 CPI(確)  
(米国) 1月 企業在庫  
(米国) 2月 PPI  
(米国) 2月 小売売上高  
(米国) 新規失業保険申請件数

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。